

# 酒々井町郷土研究会々報

第31号

昭和59年1月5日  
発行  
酒々井町郷土研究会  
総務部

## 謹賀新年



酒々井町郷土研究会運営委員一同

### 石佛のこころ(二)

相京晴次

#### 聖観音

採ってみましょう。

石佛調査による、判明した

聖観音(しょうくんのん)正観音

石佛の種のうち最も数の多か

とも書きます。本来は、観世

たのは、前号で発表したように

音菩薩であります。一般には

地藏菩薩四九基、如意輪

胎して呼ばれています。

観音三四四基、でありましたが、

観音さまは、現世利益の佛と

三位は、聖観音の一三三基、

して、何事の願いも聞きとど

四位は、阿弥陀如来の三八基

けてくれる有難い佛であり

五位は、大日如来三〇基と

ます。十一面観音、如意輪

つづきます。

観音、白衣観音等々、多くの

そこでこの順位に従って、私

変化観音と区別するたために

違々祖先達ば、どんな心で

変化しない観音として、聖観

石佛をつくり、信仰してきたか

音と呼はれています。

石佛のこころと祖先のこころと

当町の聖観音の分布は、下

岩橋一六基、養正倉、屋上石

一五基、相木一三基、酒々井

一ニ基、などが多い方で、そ

の地の地正に数基ずつ散

在してあります。上本佐倉

と馬橋には、どういいうわりの

見当りませんでした。

伊藤浄泉寺の聖観音は、

不造であります。町の文化

財に指定されています。

阿弥陀如来

阿弥陀如来は、浄土宗系の

本尊佛となっており、他力本願

をかたえてくれる佛さまとして

広く信仰されてきました。

阿弥陀教に「阿弥陀如来の

光明は無量であり、十萬の国土

を照らす」、阿弥陀如来の浄土

に生まれるものは寿命無量あり

とあって、西方浄土で永遠の救

いをし、その功德によって極楽

より、平安中期から鎌倉時代

にかけて一般庶民の間に盛ん

になった信仰です。

阿弥陀信仰は、源信、法然、親

鸞などの高僧によって広められま

した。

当町の石佛は、尾上八基、酒々

井、伊藤各七基をばじめとして

各邑に散在しています。

大日如来

大日如来は、天台宗、真言宗は

ど密教(みつぎょう)系の最高の

佛で、宇宙を円柱化したもので、

昼夜の別ある日の神の威力に

勝るのが大日如来であるといわれ

ます。

金剛界と胎蔵界の二種があ

ります。真言宗の寺院の本

尊は、みな大日如来となさいます。

その呪文(じゅもん)を唱えると

諸病が癒り、安産をすすという

現世利益の面もあり有難い佛

様として一般に信仰されてました。

当町の石佛の分布は、尾上や七

基、中川五基、酒々井、上名橋、墨

伊藤の各五基が主なものでなっ

ています。以下次号

むかしアソビ

あそび遊び(三)

宮本博司



羽根つき

正月気分を覚ゆる優雅な遊

びの一つである。大体は女の子が

多く、メンバー不足のときは男

の子も仲間に入った。

襟の裏の先に赤、黄、緑色に

染められた緋の羽根が押しつら

羽根を羽子板で突くものである。

教と教えながら一人で突くとき

もあるが、組に分かれて突きあ

のが普通である。突き方でミス

がある。正月早や顔に墨を

塗られることもある。



お手玉

小布と便子袋の形に縫い中に小豆

やずす玉を入れ平ひたの位置の玉

にして突き合った。初歩は二個、熟練す

と教える高つる甲にのせき等して遊んだ

緩とり

寒い日に日向でよく女子達

がやっていた。根緒六十センチ位

のものを輪をつくり、左右の手首や

指にかけて互に取り合うゲームで

ある二人のときは川橋などの形

をつくることもあり、一人では熊手

ほし正月などの形をつくらった。

教え歌

この歌に合わせてお手玉、羽根

つき、まりつきなどをした。

(例)一番はじりは一宮宮、二は日光

東照宮、三は佐倉の第五郎。

四は信濃の善光寺、五つは出雲

の大社、六つは村の鎮守さま。

七つは成田の不動尊、八つは八幡

の八幡宮、九つ高野の弘法様

で東京の本願寺

(例)一はつ談判破裂して、日露戦

争はじりた、二つと逃げるはロシアの兵

死にじりた、三つは日本の兵

五万の兵をひきつれて六人のしりてみだ

ごろし、七月の戦いはハルビンまで

も攻め入ってクオバトキンの首をとり

東郷大將ばんげんごい。

郷工研日誌

10月8日	古文書学習会	参加者	12名
10月9日	野草の会、船橋市	参加者	15名
10月22日	史談会、明浜初期の交通	参加者	6名
10月23日	石佛調査	参加者	10名
11月5日	野草の会、柏木下岩橋方面	参加者	18名
11月8日	木更津鹿野山方面見学会A班	参加者	40名
11月10日	同上 B班	参加者	35名
11月12日	古文書学習会	参加者	12名
11月13日	神社調査、尾上、飯積	参加者	7名
11月25日	木更津鹿野山方面見学会C班	参加者	30名
12月6日 7日	藤沢遊歩行、江島、房州一泊見学会	参加者	60名
12月11日	石佛調査、雨天中止		
12月17日	史談会	参加者	5名
12月20日	運営委員会	参加者	25名

新会員紹介

	氏名	地区
406	山名千代子	
407	木村千代	
408	落合啓二	
409	伊藤けん	
410	京増春治	

印旛沼の橋

川生

印旛沼ができたのはいつごろ  
であらうか 数十年前、ソヤカ  
とものと古く時代であった  
らう、それでは沼の周辺に  
人の住むようになったのは、  
一、二百年前であらうと推測さ  
れている。

古代人と印旛沼のかわり  
あいはどんなであらう、おそ  
らく、丸木舟や筏を便して奥  
とつたり、集落間の交通に  
利用されていたことであらうか。  
中世の印旛沼は、近世の  
印旛沼は、と憶測すると際  
限がないようである。  
印旛沼に渡船の制度が  
出来たのはいつごろであらう、  
近世初期、徳川幕府によ  
り諸寺統制されたころから

であらう。

それから四百年、永い歴史をか

つ渡船も、昭和四十三、三年頃  
になると、印旛沼の干拓が進  
沼が水路と変わり渡船に変わ  
橋がかり陸の孤島であった印  
西地区は急激な発展をするよ  
うになった。

戦前から比較すると夢のよう  
変わりようである。をこむ或る且  
千年の夢を破った印旛沼の橋の  
ぐりとしてみた。

甚兵衛大橋

伝説、伝倉宗吾の中に登場す  
る甚兵衛渡しに代玉作られた橋  
と、昭和四十二年、北部調整池と  
疎水路の分岐点に架けられた。  
長さ一四四メートルと印旛沼の橋で  
は最も長い一般県道  
成田、印旛線が走り、交通  
量が多く、橋の風景も、  
以下次号。



編集 佳木 空 だより

郷工研究会は、昭和五十二年、  
一月創立されて、満七十年を経過  
八十年目に入りました。  
会員各位の協力により躍進  
を続け、実質全員数三百人と  
なっています。

木更津鹿野山方面の見学会  
は合計一回、十二月の鳥  
房州一泊見学会は、六、七とい  
すれも盛合です。  
おわかしです。



見学会会計報告	
○木更津鹿野山方面見学会 58年11月	
収入	会費 1,400 × 104人 = 145,600
支出	弁当 560 × 111人 = 59,940 懇話会費 450 × 105人 = 42,250 神守り 270 × 105人 = 28,350 バス代 800 × 3 = 2,400 計 152,540
差引不足	¥10,060 郷工研補助
○江の島房州一泊見学会 58.12.6/7日	
収入	会費 13,000 × 60人 = 780,000 龍破し 21,000 計 801,000
支出	手拭 67,419 運動手助 12,000 宴會室有 10,000 遊行手助 5,000 計 94,419 計 706,581
差引	¥94,419 残金 郷工研へ

# 郷土研行事案内

59年度 総会	1月26日(木) 午後1時受付 1時30分開会 ◎59年度会費受付¥1,000- 会場 中央公民館 58年度事業報告・会計報告・59年度事業計画 予算案の承認等 議事終了後文化映画会を行ないその後どろろ酒館にわらわら出陣下り
役員会	1月21日(土) 午後1時30分 中央公民館 (総会準備)
文化財 愛護	3月25日(日) 午前9時 青年研修所集合 上岩橋貝層・横穴石室 草刈り清掃 午前中終了 午後1時 伊藤の松並木 環境整備 現地集合 雨天代替 4月7日(日) (伊藤・大塚・上郷会員)
県内 見学会	3月13日(火) A班 会費 ¥1,000- 中食代共 3月16日(金) B班 会費300円 出発 中央公民館前 8時30分 3月27日(火) C班 申込受付 1月9日(月) 午後9時以後 見学地 佐原観福寺—飯高檀林—竜尾寺—中村檀林

	1 月	2 月	3 月
古文書 学習会	休 三	4日(土) 午後1時30分 中央公民館	10日(土) 午後1時30分 中央公民館
神社・石 佛調査	休 三	12日(日) 午前9時 中央公民館集合 雨天 資料整理	11日(日) 午前9時 中央公民館集合 雨天 資料整理
野草の会 名勝探訪	29日(日) 午前8時 赤城酒々井駅集合 校学園—宇田庭園—農家記念館 —清澄庭園 ・会費 自弁(乗車費・中食 ¥400) 雨天中止	7日(火) 午前11時 七草ゆき会バレー会 中央公民館 ・会費 500円 先着50名 申込受付 1月9日9時以後	17日(土) 12時10分 圓鉄酒々井駅集合 物井〜大田権現〜赤崎 〜佐倉駅 雨天中止

## 見学会案内

### ◎ 観福寺 佐原市

真言宗豊山派の名刹で、寺名の懸  
佛、四軀は重要文化財、境内墓域に  
伊能忠敬、国学者榊原素考の墓がある。

### ◎ 飯高檀林 八日市場市

豪族平山刑部少輔の成跡に、飯高寺が  
建てられ、日蓮宗の檀林(厚間所)が建て  
られた。徳川幕府の庇護を受け、栄えた  
名刹で果の史跡に指定されている。

### ◎ 竜尾寺 八日市場市

志し大旱魃で困ったとき、聖武天皇の  
命により竜尾寺の杖上人以下由來僧が  
雨乞の祈願をして、万願の日に大雨雨  
と降った。その時に竜の身体が三つに裂け  
て落ちた。頭が落ちたところを竜首寺(栗  
町)腹が落ちた所に竜腹寺(本登村)  
尾が落ちた所に竜尾寺との伝説あり

### ◎ 中村檀林 多古町

日蓮宗の名刹。中山法華経寺初代日蓮大南無三  
世日蓮上人が千手聖像の舟遊をうけて諸堂建立、後  
に日蓮宗の檀林となり、境内は約二十坪。